

## 1. 理念・目標

経営学部は「人間主義経営」を理念として掲げています。これは本学の建学の精神に基づき、学部の理念として設けられたものです。すなわち「人間主義経営理念」とは、人間の心の奥底にあるダイナミックな普遍的な精神から一個の人間の行動と組織活動・ビジネス活動・社会活動をみる考え方です。この理念から次の三点を本学部の目的・教育目標としています。

- ① 人間主義に立脚した人材の育成
- ② 問題解決に必要な専門知識と手法を持つ人材の育成
- ③ 国際舞台で通用する人材の育成

「人間主義に立脚した人材」とは、精神性まで踏み込んだ深い意味での人間の理解と、それに基づいて発揮される価値創造の能力を持つ知性の人材のことです。

「問題解決に必要な専門知識と手法を持つ人材」とは、複雑に絡み合った社会問題を解きほぐす専門知識をもち、情報技術に精通して広く情報を集め、問題の本質を見抜き、未来を見通す人材のことです。

「国際舞台で通用する人材」とは、グローバルな感覚を有して全地球的に行動できる人材のことです。

## 2. カリキュラムの特色

教育目標の達成のために以下の特色を持ったカリキュラムを設置しています。

### (1) 人間主義を根幹とした経営教育

「人間主義に立脚した人材の育成」のため、「人間主義経営論Ⅰ」を2年次前期に必修科目とし、専任教員および卒業生の経営者が専門分野の研究、実務経験にもとづき人間主義経営を論じます。本学の建学の精神である人間主義を経営的視点から探究し、人間主義経営のための哲学、目的、方法などを考察し、新しい学問領域の構築を目指して授業を実施します。

また、「人間主義経営論Ⅱ」を選択科目として2年次後期に配当して、欧州、米国、またはアジアへの訪問研修授業「GP Mission」の成果も活用し、企業の社会的責任、コンプライアンス、環境問題など適切なテーマを用いたオムニバス形式で人間主義経営に対する理解を深めていきます。

### (2) 演習による少人数教育

「問題解決に必要な専門知識と手法を持つ人材の育成」には、キャリアデザイン、コミュニケーション、情報収集、企画、立案、論理的思考、数量分析、プレゼンテーション、ディベートなどの能力の開発が不可欠です。

本学部では、1年次の「経営基礎演習」と3、4年次の「演習」（ゼミ）を必修科目とし、1年次後期または2年次前期に「グループ演習」のA、Bを選択必修科目に置き、さらに2年次後期に「専門基礎演習」を設けて、これらの能力を段階的に育成します。

「経営基礎演習」では、専門の勉学への動機づけを主な狙いとし、大学4年間の授業で必要とされる基礎的で一般的な学習方法について学びます。具体的には、プレゼンテーションの方法、図書館の利用法、ディスカッション法など様々な要素が含まれます。また、学生ポートフォリオを用いてキャリアデザインについてのきめ細かな指導も行います。

特にプレゼンテーション能力を重視して、「経営基礎演習」において演習内でプレゼンテーションを行うと共に、「グループ演習」で全体的なプレゼン大会を開催してその成果を見ます。さらに3、4年次の「演習」（ゼミ）では、これらの演習の積み重ねに基づき、専門性に特化した知識と能力を深め、伝統のある本学部の「学生論文発表大会」において教育成果を発表することができます。

なお、「演習」（ゼミ）では、休暇中にはゼミ合宿を実施したり、企業訪問を行ったりもします。ここでは学習だけではなく、ゼミ生同士の友情の絆を深め、教員との触れ合いによる人間性の深化が行われます。

### (3) 充実したキャリア教育

「問題解決に必要な専門知識」の習得には、現実のビジネスの世界に触れてもらい、知識を活かす方途を学習することが欠かせません。経営学部では共通科目のキャリアデザイン科目を7科目指定し、これから4単位以上修得することを卒業要件としています。

特に、経営学部がコーディネートしている「トップが語る現代経営」では、毎週一流企業の経営者を招き、直面している経営課題とトップの経験から発するリーダーシップ論など貴重な講義が展開されています。

### (4) 英語による専門教育

「国際舞台で活躍する人材の育成」のために、ヨーロッパまたはアジアへの訪問研修授業「GP Mission」を開講し、これを中心として多数の英語関連科目を配置しています。

「GP Mission」では、海外の国際機関や経営大学院を訪問したり、外国企業を視察したりします。これは経営学部独自のもので、地球市民としての視野をもったグローバル・ビジネス・リーダーに必要な英語能力の育成を目指しています。

英語ネイティブの教員を中心として個別もしくは共同で英語で行う授業は、選択必修科目に指定している「Business English I」をはじめ、16科目42単位を用意しています。

また、グローバル・ビジネス・リーダーとして必要な上級の英語能力と専門能力の育成のための上級専門英語科目群「Global Communication Program」も設置しています。

### (5) 専門科目を必修科目と選択必修科目によって体系化

「問題解決に必要な専門知識と手法を持つ人材の育成」において、現実の複雑な問題を解決するためには専門知識の体系的な習得が不可欠です。

そこで専門講義科目を基礎的なものから体系づけ、「経営学原理」、「簿記原理」、「経済学入門」、「人間主義経営論 I」を必修科目としています。また、選択必修科目の枠を設け、「流通論」、「経営管理論」、「経営組織論」、「人的資源管理論」、「会計学」、「財務管理論」、「経営史」、「マネジメント・サイエンス」、「経営戦略論」、「生産管理論」などの16科目60単位の中から20単位以上の修得を卒業要件としています。

21世紀の新しい世界に緊急に必要な知識の1つとして、現在ビジネス界にとどまらず一般社会にまで大きく革新の波動を起こしているICT（情報通信技術）があります。今日では、あらゆる企業や団体において、その組織の情報を担当する部門は、活動の中核的役割を果たす存在として認識されています。そこで要求される能力は、経営とICTの両方に関わる専門的で創造的な能力であります。このような考え方にに基づき、「経済経営のための統計入門」、「基礎統計学」、「ビジネスゲーム」、「経営情報基礎演習」と「プログラミング論」を選択必修科目とすることなどにより、ICT活用能力の向上を図っています。

これら体系化された科目群の履修を基盤として専門性を深め、人間主義の基本理念を根拠にして、21世紀の新たな時代状況の中で、創造的経営を担い活躍する人材を育成することをめざしています。

### (6) 多彩なプログラム

「問題解決に必要な専門知識と手法を持つ人材の育成」の一環として、本学部の卒業生に求められる専門知識と能力を示し、特定の分野の科目群を集中して履修するプログラムを用意しています。

持続可能経営をテーマとした「Global Program」、「Global Communication」、「社会的責任」、「環境マネジメント」、「コーポレート・ガバナンス」、戦略経営をテーマとした「経営管理」、「マーケティング」、「e ビジネス」、財務・会計の分野で「財務会計」、「戦略管理会計」、「金融・証券」の11のプログラムがあります。

プログラムの組み合わせによりそれぞれの専門性を深めることができます。また、公認会計士、税理士、中小企業診断士、経営学検定、簿記検定などの資格試験に役立てることもできます。

### 3. プログラム一覧

テーマ	プログラム名称	到達目標 / 科目群 (数字は単位数、太字は選択必修科目)
持続可能経営 (Sustainable Management)	Global Program	地球市民としての視野をもったグローバル・ビジネス・リーダーの英語能力の育成 (20) Study Skills for Global Business I, II <b>Business English I, II</b> GP mission GP Review GP Writing
	Global Communication	グローバル・ビジネス・リーダーとして必要な上級の英語能力と専門能力の育成 (18) Advanced Business English I, II Multicultural Management Global Business Issues I, II Management Forum A, B
	社会的責任	企業および企業以外の組織体の社会的責任遂行に必要な専門的知識の習得 (22) 人間主義経営論II 国際経営論 国際的資源論 多国籍企業論 国際比較経営史 <b>人的資源管理論</b> 社会責任会計
	環境マネジメント	環境保全に関する企業および行政の政策立案とその意思決定の方法の習得 (18) <b>基礎統計学</b> マネジメント・サイエンス 社会責任会計 環境マネジメント 環境資源管理論
	コーポレート・ガバナンス	ガバナンスやCSRの視点から企業価値の評価ができる専門能力の育成 (20) <b>財務管理論</b> <b>経営戦略論</b> 会社法 企業論 証券市場論
	戦略経営 (Strategic Management)	経営管理
マーケティング		マーケティングの視点から発想し企画する能力と消費者の行動を把握し分析する能力の育成 (24) <b>流通論</b> <b>マーケティング</b> <b>マチャングイソング</b> <b>基礎統計学</b> 消費者行動論 ビジネスデータ分析
eビジネス		eビジネスモデルの現状の理解とICT活用能力の育成 (20) <b>プログラミング論</b> Webデザイン論 情報基礎論 情報とビジネス 情報システム設計論 システム分析
財務・会計 (Finance and Accounting)	財務会計	企業経営に必要な財務会計(制度会計)の専門的基礎知識の習得 (18) 特殊講義A(工業簿記入門) 特殊講義B(中級商業簿記) <b>会計学</b> 会社会計 監査論 会社法
	戦略管理会計	企業経営に必要なマネジメント会計の専門的知識の習得 (18) <b>ビジネスゲーム</b> 原価計算論 企業価値管理会計 <b>経営戦略論</b> <b>生産管理論</b>
	金融・証券	金融・証券について理論・歴史・現状を踏まえた的確な洞察ができる能力の育成 (20) <b>財務管理論</b> 金融論 金融機関論 金融史 証券市場論

#### 4. Global Program (GP) 関連英語科目一覧

GP Mission を含む英語関連専門科目がレベルごとに段階的に設置されています。  
 共通科目のレベル別英語とあわせ、下記を参考に履修されることをお勧めします。

TOEIC-IP スコア	300	445	485	500	530	585	600<
第6・第7 Semester						国際的人材として目指すべき 英語水準	
第6 Semester					Global Business Issues II / Advanced Business English II / Multicultural Management		
第5 Semester				Global Business Issues I / Advanced Business English I			
第4 Semester			*GP Mission GP writing/ GP Review				
							International Communication Business
第3 Semester		Business English II (レベル分け)					
							International Communication Business Management Forum A
第2 Semester		Business English I (レベル分け)					
		Study Skills for Global Business II (SSGB II)					
		共通科目英語 ABC				Professional English など	
第1 Semester	英語 AB	Study Skills for Global Business I (SSGB I)					
			共通科目英語 ABC				Professional English など

※ Study Skills I (スコア300以上)とIIおよび Business English IとIIは3段階のレベル分けを行いますので、レベルにあったクラスを履修してください。共通科目の英語もレベルに合わせ履修してください。英語ABは経営学部用にクラスがあります。

Semester	学修・履修ガイドライン
第1・第2 Semester	経営学部で英語を勉強する上での基礎力を身につけるための重要な時期です。レベルに従って英語科目を履修してください。また、GP Missionに参加するには Study Skills IとII (あるいは同レベルの科目)の単位を修得し、かつ Business English Iを履修していなければなりません。Global Programを学習しない場合も、国際英語習得に向けこの一覧に従い履修してください。
第3 Semester	さらなるビジネス英語の基礎力向上を目指します。Business English IIを履修すると同時に余力のある人は、共通科目の上級レベルである International Communication: Business (ICB) を履修します。GP Mission 参加希望者はテーマを英語で学ぶ Management Forum A をお勧めします。
第4 Semester	留学レベルの英語力をつける時期です。ICBなどで英語の専門能力を高めます。GP Mission 参加者は、mission参加の前後に、GP ReviewやGP Writingを履修します。
第5・第6 Semester	更なる専門英語の向上をはかり、国際的な職場で対応できる英語の応用力をつけてゆきます。Advanced Business Englishは文字通り、上級レベルのビジネス英語を研さんします。また国際的人材として必要な知識を身につけ、様々な場面で応用してゆける能力をつけるため、Global Business Issues、Multicultural Managementなどの英語の専門科目を履修します。
第7・第8 Semester	4年次まで継続して英語関連科目の履修が望まれます。国際的人材に要求される TOEIC-IP スコア 585 点以上を目指して頑張りましょう。

## 5. 卒業要件

経営学部の学生が、卒業までに必要な単位数は下表の通りです。  
その上で、次のことを満たさないと、卒業までに必要な単位数を修得しても卒業できません。  
よく確認してください。

- 通算GPAが**2.00**以上であること。
- 人文科学系・自然科学系の2分野から各々8単位以上を修得すること。

授業科目	科目特性		卒業に必要な単位数
共通科目 ・ 学部学科 英語科目	選択必修科目	①大学科目	<b>2単位</b>
		②キャリア教育科目 ※1	<b>4単位</b>
		③言語科目（英語） 学部学科英語科目 ※2	<b>6単位</b>
		③言語科目（第2外国語） ※3	<b>4単位</b>
専門科目	必修科目		<b>24単位</b>
	選択必修科目A群		<b>2単位</b>
	選択必修科目B群		<b>20単位</b>
	選択科目 ※4		<b>30単位</b>
自由選択	<1>共通科目		<b>32単位</b> ※5
	<2>専門科目		
	<3>他学部専門科目		
	<4>特設課程科目		
合 計			<b>124単位</b>

各科目特性の卒業必要  
単位数を超えた単位数

この表の単位数は卒業に必要な単位数です（これ以上の単位修得も可能です）。

- ※1 ②キャリア教育科目は、次の7科目の中から4単位を修得してください。これ以外のキャリア教育科目の単位を修得した場合は自由選択の単位に組み込まれます

「キャリアデザインと職業」、「ワールドビジネスフォーラム」、「トップが語る現代経営 a」、「トップが語る現代経営 b」、「企業研究」、「インターンシップ a」、「インターンシップ b」

- ※2 共通科目の英語と学部学科英語科目で6単位を修得してください。
- ※3 第2外国語は、1ヶ国語で4単位を修得してください。  
共通科目については、39頁を参照してください。
- ※4 選択科目30単位には、選択必修科目A群、B群でそれぞれ2、20単位を超えて修得した単位数を含めることができます。
- ※5 自由選択とは<1>共通科目<2>所属学科(専攻)の専門科目<3>他学科(専攻)専門科目<4>特設課程科目(教職・社会教育主事・学芸員の各課程登録者のみ履修可)のどの科目でも自由に選択して単位を修得することができます。ただし、<4>特設課程科目については16単位を上限とし、それを超えて修得した単位数は自由選択の単位として計算されません。  
 なお、<1>共通科目と<2>所属学科(専攻)の専門科目の単位は、各々の卒業に必要な単位数を超えて修得した場合に自由選択の単位となります。  
 例えば、専門科目の選択科目を32単位修得した場合には、2単位が自由選択の単位として計算されます（自由選択を32単位修得済の場合は、卒業基準単位数を超えた単位として計算されません）。

## 6. 演習（ゼミナール）の履修について

### (1) 演習についての注意事項

専門科目の演習（ゼミナール）の履修を希望する方は、以下のことに注意してください。

- ① 演習は定員制で、申し込みと選考があり、そこで所属が決定されます。
- ② 演習ガイダンスが事前に行われますので、必ず参加してください。
- ③ 演習は、原則として、同じ教員のもとで行います。

### (2) 演習ガイダンス及び申し込み時期

2年次後期にガイダンス及び申し込みがあります。

### (3) 演習科目名・科目特性・履修時期については以下の通りです。

経営学部：演習Ⅰ～Ⅳ（専門必修科目）

演習Ⅰ（3年次前期）・Ⅱ（3年次後期）・Ⅲ（4年次前期）・Ⅳ（4年次後期）

## 7. 履修制限・成績優秀者・早期卒業に関する条件について

◆経営学部の基準は以下の通りです。

履修上限 単位数 ※学期毎の 上限単位数	履修制限 除外科目	成績優秀者になるための 基準		成績優秀者の 履修制限緩和		早期卒業するための基準		
		学期毎の修得 下限単位数	直前セメスタ ーの GPA 数値	追 加 単位数	上級年 次履修	卒業判定時 通算 GPA 数値基準	4 セメスター終了時点 の条件	
							通算 GPA 数値基準	最低修得単 位数
20 単位	特設課程科目	16 単位	4.4	4 単位	可	4.4	4.4	84

早期卒業するためには、4セメスター終了時点で、基準の GPA 数値と修得単位数を満たし、早期卒業対象者に選ばれる必要があります。そして、卒業判定時（6セメスター又は7セメスター終了時）に上記の GPA 基準を満たし、かつ、卒業基準単位を修得する必要があります。

なお、早期卒業対象者は、毎履修登録時に卒業希望セメスターを Web より登録して頂きます。

## 8. 専門科目の認定について

経営学部では、下記の通り、経営学部の専門科目の単位を認定します。単位認定を希望する学生は、所定の申請書（教務課窓口で配布）と合格証書原本（教務課で写しを取った後に本人へ返却）を教務第2課に提出してください。その後学部教授会で審議され、認定されます。

なお、経営学部生以外の学生については認定できません。

- ① 日本商工会議所主催の「簿記検定1級」に合格した場合は、経営学部の専門科目の「簿記原理」もしくは「会計学」のいずれか1科目4単位を認定します。
- ② 日本商工会議所主催の「簿記検定2級」に合格した場合は、「簿記原理」の4単位を認定します。

ただし、日本商工会議所主催「簿記検定」の資格取得で認められる単位認定は4単位を上限とします。

- ③ マンチェスター大学インターンシップは、海外インターンシップⅠⅡとして単位認定します。
- ④ 留学中に経営関連の科目の単位を取得した場合は、教授会の審議を経て、該当の専門科目としてあるいは International Business Studies ⅠⅡとして単位認定いたします。